

【 第 137 回 国内旅行 門司・山口・瀬戸内の歴史・文化遺産を巡る3日間 】

『維新の思想家吉田松陰と 世界に対面した日本の歴史に触れる旅！』



(松下村塾)

幕末から明治へ時代を担った伊藤博文・高杉晋作・山県有朋等が学んだ松下村塾。この二間足らずの離れのような建物で、世界に対して日本はどう行動するのかが議論されました。吉田松陰の気概に触れる旅に出かけませんか？空路で北九州に入り門司・萩・広島・呉とバスで移動、広島空港から再び空路を使って帰って来ます。

1 日目

【 羽田空港から北九州空港へ 】 [集合 8:30 出発 9:10] (時刻はすべて予定時間です。)



羽田空港からスターフライヤー75便で北九州空港に向かいます。飛行時間は1時間40分、北九州空港の到着予定時間は10:50です。



スターフライヤーは、北九州空港を本拠地とする日本の航空会社です。エアバスA320 の黒塗りの機体、革張りのシート、他社に比べて座席間隔を広く取っており、ご覧の通りシートの後ろには各個人用の画像モニターが装備されています。ちょっと贅沢な空の旅をお楽しみください。

【 門司 】

《旧門司三井倶楽部》[12:15～13:15]



旧門司三井倶楽部は、三井の迎賓館として著名人が招かれたサロン的な建物です。昼食をこちらで取ります。レストランの室内は大正10年に造られ、往年のままの状態です。国の重要文化財です。重要文化財の中で飲食するのは、あまり経験がありません。よき時代の、いわゆる「大正モダニズム」の本物を感じながらお食事をする事が出来ます。



昼食のメニューです。メインのふぐのステーキにお造りで企画しています。食材の季節変動がありました場合はメニューの変更もございますことをお含み置き下さい。

《門司港レトロ地区散策》[13:15～13:45]



門司港にはモダンとレトロが融合した独特の雰囲気を持つ町並みがあります。わずかな時間ですが食後の散策をお楽しみください。その後長門市に向けバスの旅になります。

【 長門 】

山口県西部の長門市は昔の長門藩です。長門は「大和」より長く連合艦隊旗艦として親しまれた「長門」に名を与えた地名です。大陸・半島と向かい合っている地理的位置は、昔から国防を考えざるを得ない土地柄でした。「国」を考える吉田松陰がなぜ萩に現れたか？東京から見るとちょっと不思議に思えますが、

長州からみれば当然のことなのかもしれません。

《金子みすゞ記念館》（山口県仙崎）[16:00～]



金子みすゞは、震災の時のコマーシャルに使用されて一躍日本中に知られましたが、大正後期に彗星のようにあらわれた童謡詩人です。西条八十に「若き童謡詩人の中の巨星」と絶賛されています。残念ながらこの写真を撮った翌日に26歳で亡くなりました。娘さんの養育権を取り戻すための覚悟の自殺です。詳しくは記念館でご覧になって下さい。また作品は著作権を主張される方がおり、ここには転記しないことにします。「こだまでしょうか」「大漁」など心に響く作品群は一つ一つがまるで宝石のように輝いています。



金子みすゞ記念館は、金子みすゞの実家跡に彼女が住んでいた書店「金子文英堂」を再現してあります。入り口はこんな雰囲気ですから、ちょっとびっくりします。

《仙崎「みすゞ通り」散策》〔～17:00〕

みすゞ通りは仙崎駅から北に1km伸びる通りで昔ながらの風情が楽しめます。各戸にみすゞの詩の中から好きな詩の木札が掲げられています。是非お読みください。

《長門湯本温泉「大谷山荘」》〔17:20到着〕



大谷山荘は山荘と銘打っていますが山荘などでは全くなく、実は山口県一と言われる豊かな自然に囲まれた高級ホテルです。空気がきれいなため星空が美しく、星を観察するための大型天体望遠鏡の設置された天体ドームもあります。





夕食は18：30からの予定です。メニューは「大谷山荘春会席」です。左下「真河豚のたたきサラダ」、左中段「鯛胡麻風味鍋」、左上「和牛ロース」等です。食材・器は季節により若干変更させていただく場合があります。

2日目

二日目のホテル出発予定時間は8：15です。

【 長門 】

《 海鮮村 北長門 》[8:30～9:00]



山口の名産品が何でも一通り揃っているのは、今日の行程中でこちらですので、出発したばかりで驚かれると思いますが立ち寄ります。海鮮村と名付けられているとおり海産物が豊富です。

【 萩 】

《 松陰神社・松下村塾 》 [9:30~10:15]



松陰神社は当金庫豪徳寺支店の近く、世田谷の若林と萩にあります。どちらも伊藤博文ら門下生の創建によりますが東京の松陰神社が墓所、萩が生誕地を由来に創建されたものです。

どちらも学問の神様、萩の松陰神社は松陰の使った赤間硯と書簡がご神体です。また神社内に松下村塾の建物が現存していますので、幕末から明治への時代が実感できます。



ご覧の通りの僅か二間ですが、ここに学んだ人の名には驚きます。高杉晋作、伊藤博文、山県有朋、前原一輝、木戸孝允など、「う～ん、ここにね～」と思い、ちょっと触りたくなりますけれど、触ると怒られますから見るだけにしましょう。ガイドさんが興味深いお話をしてくれるはずです。

《 大河ドラマ館 文と萩物語 》[10:30～]



大河ドラマ館は次の萩藩校「明倫館」(旧明倫小学校)の体育館の中に来年一月まで設置されています。ドラマの杉家の台所のセットと、松下村塾のセットが再現されています。

《 旧萩藩校「明倫館」 》[～11:15]



旧明倫小学校は大河ドラマ館の奥に4棟並んでいます。見るには本館が、2階部分の白漆喰とフランス瓦など特徴的です。11:15に湯田温泉に向けて出発します。湯田温泉まで1時間半です。

【 湯田温泉 】

《 ホテル かめ福 》[12:45~13:45]



萩と広島間の昼食場所としてドライブイン等の施設は使いたくありませんので湯田温泉の日本旅館「かめ福」を選びました。湯田温泉は日本を代表する詩人の一人中原中也の出身地です。地元の食べ方として右上の「瓦そば」があります。瓦板の形の器を加熱して下の出汁でいただきます。ざるそばが温かいというのはご想像出来ますでしょうか？出汁がおいしく、そばが香ばしいです。これで釜飯を食べます。食事は食材の季節による変動がございますのでメニューの変更もございましたことをお含み置きください。

【 山口 】

《 瑠璃光寺 五重塔 》[14:00~14:45]



瑠璃光寺は百済の琳聖太子を祖とも言われる室町時代の大内氏の寺です。大内氏は当時「西国一の大大名」と讃えられました。この五重塔は国宝になっており、日本三名塔の一つです。

「日本三名〇」というものは、たくさんありますが、五重塔では、奈良法隆寺・京都醍醐寺とこの瑠璃光寺です。なぜ奈良、京都と並んで山口に三名塔があるのかと言えば、大内氏24代の弘世(ひろよ)の京へのあこがれから始まった山口の都市作りがその子26代盛見(もりはる)で文化的に花開いたからと言えます。盛見は足利義満の命により兄である25代義弘を滅ぼしますが(応永の乱)、義弘の菩提を弔うためにこの五重塔を建立しました。三名塔はいずれも国宝九塔の一つ、周辺の景観の美しさも共通しています。また五重塔の建築技術はスカイツリーにも応用され千年に一度の地震にも耐えたのは記憶に新しいところですから、一見の価値あります。

こちらで記念写真の撮影と希望販売を行う予定です。

【 広島温泉 】

《 グランドプリンスホテル広島 》 [17:45到着]



「グランドプリンスホテル広島」は、毎年開催される広島平和公園のイベントに招かれる各国要人の定宿として有名です。そういった訳で、プリンスホテルの上級グレードホテルとしておもてなしの姿勢には定評があります。広島温泉の名は東京ではあまり知られていませんが、ホテル内に広島温泉「瀬戸の湯」を持っています。またどちらのお部屋からも海がご覧になれます。



レストランからの瀬戸内海の夕日がきれいでした。お食事や温泉、景観等贅沢な時間をお楽しみいただけるものと思います。



プリンスホテルのお食事はフレンチです。中央下が肉のメインになる「牛フィレ肉のパイ包み焼きウエリントン風 広島三次赤ワインソース」、中央上が魚のメイン「瀬戸内海産太刀魚の衣揚げと大根煮 湯葉あんかけ」です。食事は食材の季節変動があるため確定できませんがこのグレードで企画を進めています。



参考料理です。右上が「瀬戸内海産真鯛のポワレ ほうれん草添え 赤色と青色の海藻入りバターソース」、中央下が「広島産赤鶏のパロテーヌ キャベツ添え 広島産茸の入ったキノコソース」というように、地元の食材を使って新鮮でおいしいお料理をご提供します。



室内の様子です。ごゆっくりお寛ぎください。

3日目



グランドプリンスの朝食です。東京ではおなじみの「なだ万」が入っていきまして和朝食は「なだ万」のものです。

【 広島 】

《 宮島 》（ 厳島神社 ） [8:31出港]

宮島は日本三景であり、「厳島神社」とその周辺の「弥山原始林」が平成8年、世界文化遺産に登録されています。



ホテル前の栈橋を使って、チャーター船で厳島神社に向かいます。厳島神社は普通に陸路で参拝すると、ほぼ半日の行程になりますが、船ならば短時間で、歩く必要がありません。船内は東京シティのお客様だけです。1時間でホテルに戻ってきます。



大鳥居付近に停泊して参拝します。大鳥居の向こうに厳島神社と弥山原始林が見えます。陸路から見えない「安芸の宮島」の姿をお楽しみください。

出発した栈橋に戻り、9:30のバス出発になります。

【 広島 】

《 原爆ドーム 》 [10:15～11:00] [6月17日(水)出発班は見学時間を検討中]



原爆ドームは、毎年の平和記念行事のテレビ中継で必ず出てきますから、姿形は頭にも残っていますし、いつかは行きたいと思うのですが、なかなか訪れる機会が無いままになってしまいました。せっかく広島からの出発ですから立ち寄りましょう。

足場が掛けられているのは原則3年ごとに行われる補修工事です。今回は4月25日までの工事予定ですから東京シティの旅行には足場が外された姿がご覧になれます。

【 呉 】

《 クレイトンベイホテル 》 [12:00～13:00] [6月17日(水)出発班は11:30～12:15]



三日目の昼食はクレイトンベイホテルを使います。このホテルはJR呉駅からも呉港車で5分という好立地に恵まれたシティホテルです。



横須賀のお昼の定番は「海軍カレー」ですが、呉のお昼は「海軍ランチ」と呼ばれます。右上の「黒メバルの煮付け」左上の「藻塩レモン仕立て蛸しゃぶ鍋」で地鶏炊き込みご飯をいただくという昼食を企画しています。右下は参考料理の「肉じゃが 海軍仕立て」です。

《 大和ミュージアム 》（呉市海事歴史科学館）[13:30～14:30]

[6月17日(水)出発班は12:45～13:45]



呉は日本一の海軍工廠の町でした。その象徴が世界最大の戦艦大和です。大和を造る技術は戦後わずか10年程で日本が世界一の造船国に発展していく礎となりました。その大和の十分の一模型を前に日本人の物造りや当時の生活・文化面の話も聞くことが出来ます。



零戦の最も後期に近い六二型の保存展示がご覧になれます。

《 てつのくじら館 》 [14:45～15:30] [6月17日(水)出発班は14:00～14:30]



大和ミュージアムの隣に「てつのくじら館」があります。こちらは正式名称を「海上自衛隊呉資料館」と申します。写真のように道路からすぐのところに本物の潜水艦が展示されています。潜水艦は国を守る際の戦略的な意味合いから、どの国も基本的に秘密にしているところが多いのです。それで潜水艦の実物展示は日本ではここだけしかありません。展示艦は昭和60年進水の「あきしお」といいます。中に入ることが出来ます。呉ならではの体験になることでしょう。

【 広島空港から羽田空港へ 】[広島空港 17:15着] [6月17日(水)出発班は16:15着]



日本航空264便、広島空港18:10発で羽田に帰って来ます。羽田到着は19:35の予定です。使用機種はボーイング737です。



[6月17日(水)出発班]は、全日空684便、広島空港17:15発を利用します。羽田到着は18:45の予定です。使用機種はボーイング777です。

お疲れ様でした、羽田空港で解散致します。ご自宅までお気を付けてお帰り下さい。

◆平成 27 年の国内旅行をご紹介します、是非ご参加下さい！！

◆出発日 各班、出発日を含め 3 日間の旅行日程です。

出発日	店舗名	出発日	店舗名
5 月 18 日 (月)	高田馬場・赤羽	6 月 8 日 (月)	東四つ木・菊川・中野・押上
5 月 20 日 (水)	京橋・池袋本町・石神井	6 月 9 日 (火)	京成小岩・砂町
5 月 25 日 (月)	志村・東王子・亀有・牛込柳町	6 月 15 日 (月)	玉川・堀切・豪徳寺・野方
6 月 1 日 (月)	深川・日本橋・江戸川	6 月 16 日 (火)	本店・新小岩
6 月 3 日 (水)	秋葉原・小山・蔵前	6 月 17 日 (水)	神楽坂・浦安

(出発日の変更を希望される場合はお申し出下さい。他班への変更を検討します。)

【募集人員】 400 名

【旅行代金】 129,800 円 (2～3 名 1 室) * 1 名様で 1 室をご利用の場合は追加料金がかかります。

[調査・調整]

東京シティ信用金庫 常務理事営業統轄本部長 矢野 和彦



西鉄旅行(株) 東京支店 団体・教育旅行担当

グループリーダー 中原 史貴



<http://www.shinkin.co.jp/to-city/>

スクリプト 渡邊 正之 (業務部)